



# 金曾木だより

台東区根岸4-16-22 TEL 03(3876)3701 FAX 03(3871)9507  
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310218>

令和6年度 12月号  
台東区立金曾木小学校  
校長 大木 毅  
令和6年11月29日

## 「自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 自分のよさを伸ばす子」 『感謝の気持ちで』

校長 大木 毅

朝晩の冷え込みが増してきました。いよいよ季節は真冬が到来といった感じです。暖冬の続く日本といえども真冬の寒さは身に沁みます。くれぐれもお体の方、ご自愛なさってください。街並みを飾る銀杏並木もすっかり真っ黄色に鮮やかに色づいています。改めて、日本の四季のありがたさを感じます。

さて、早いもので令和6年が幕を閉じようとしています。自身の年のせいなのか、1年があまりに早く過ぎたと感じます。金曾木小学校に関わる様々な方々に見守られ支えられた1年でした。ここに感謝の意をお伝えいたします。1年が無事に終えられそうです。感謝いたします。どうもありがとうございました。

「ありがとう」の語源は、「有り難し（ありがたし）」から来ていると聞いたことがあります。「あることが難しい。めったにないこと」の意味だそうです。だからこそ、あたりまえのことと思うのではなく、ありがたいことだなあと受け止めることが大事とのことです。

あたりまえと思っていることの一つに健康があります。元気にいられるのは、普通のこと、あたりまえのこととついとらえてしまいます。しかし、いざ風邪をひいたり、けがで思うように体を動かせなかったりすると決してあたりまえのことではなく「ありがたいことだな。」とつくづく思います。健康で日々を過ごし、笑顔で学校生活を送れることに心から感謝したいです。

世間の方々のアンケート調査などによると「他人から言われて一番うれしい言葉は何ですか？」の問いには、圧倒的に「ありがとうございます。」が多いようです。確かにこの言葉のもつ響きや心温まる感覚は、他には見当たりません。常日頃から感謝のアンテナを張っておきたいです。

「誰かが、落とし物を拾ってくれた。」「エレベーターに乗る際に、開くボタンを押して待っていてくれた。」「分からない問題のヒントを丁寧に教えてくれた。」「困ったときには、いつでも相談してねと言われた。」「苦しいときに何も言わず、ただじっくりと話を聞いてくれた。」などなど、感謝の気持ちの「ありがとう」の言葉を伝えたい場面は、たくさんあることでしょう。遠慮することなく、素直な気持ちで、相手や仲間へ感謝の気持ちを伝えていきたいです。

金曾木小学校の中に、たくさんの「ありがとう」の言葉が飛び交ってほしいと願っています。お互いの気持ちが丸くなり、がんばろうと思える言葉である「ありがとうございます。」を広めていきたいと考えています。

今年一年、改めて心から「ありがとうございました。」よいお年をお迎えください。